

福岡県点字および録音図書連絡協議会 研修会開催内容一覧

年 度	内 容・テーマ	講 師	期 日	会 場
1 9 8 9 (H 1)	①これからの録音図書製作 ②これからの図書館は	本田 美雪 (福岡点字図書館) 北村 慶子 (県立図書館)	H 2. 3. 15	福岡県立図書館
1 9 9 0 (H 2)	『点訳のてびき』改定点を中心に	藤野 克己 (岐阜訓盲協会点字図書館長)	H 3. 3. 7	福岡市立心身障害福祉センター
1 9 9 1 (H 3)	視覚障害者について	宮崎 涼二 (福岡市立心身障害者福祉センター指導員)	H 4. 3. 3	福岡県立図書館
1 9 9 2 (H 4)	録音図書を作るための処理と読み	河合 和美 (日盲社協朗読研究会委員長)	H 4. 10. 29	福岡県立図書館
1 9 9 3 (H 5)	図書館および参考図書の上手な使い方	福岡県立図書館職員	H 6. 3. 15	福岡県立図書館
1 9 9 4 (H 6)	点字資料製作における今後の課題	細川 啓子 (石川県視覚障害者協会職員)	H 6. 12. 6	福岡県立図書館
1 9 9 5 (H 7)	音訳・点訳をする前に	原 栄一 (九州大谷短大講師)	H 7. 12. 6	福岡県立図書館
1 9 9 6 (H 8)	録音図書の校正	* 討 議	H 9. 1. 17	福岡県立図書館
1 9 9 7 (H 9)	視覚障害者のコミュニケーション	* 討 議	H 9. 11. 20	福岡県立図書館
1 9 9 8 (H 1 0)	いのち、響きあう	森崎 和江 (作家・詩人)	H10. 11. 27	福岡県立図書館

年 度	内 容・テーマ	講 師	期 日	会 場
1 9 9 9 (H 1 1)	デジシステム現状と将来性について	河合 和美 (デジ情報センター研究員)	H11. 11. 30	福岡県立図書館
2 0 0 0 (H 1 2)	より緊密なパートナーシップを求めて	森山 一氏 (福岡県立大学教授)	H13. 3. 6	福岡県立図書館
2 0 0 1 (H 1 3)	点字・録音図書サービスを利用して思うこと	*事例発表 点字・録音図書利用者, 施設職員, ボランティア	H14. 3. 7	福岡市福祉市民プラザ
2 0 0 2 (H 1 4)	『点訳のてびき』の改訂について	加藤 三保子 (にじの会会員)	H14. 6. 21	福岡県立図書館
2 0 0 3 (H 1 5)	『国語に対する関心・認識・尊重を』	原 栄一 (九州大谷短期大学講師)	H15. 3. 5	福岡県立図書館
2 0 0 4 (H 1 6)	これからのデジタル録音図書制作とサービスについて	天野 繁隆 (日本点字図書館職員)	H17. 3. 6	福岡県総合福祉センター(クローバープラザ)
2 0 0 5 (H 1 7)	障害者サービスと著作権	黒澤 節男 (元九州大学院教授)	H18. 3. 3	北九州市立東部障害者福祉会館
2 0 0 6 (H 1 8)	点訳・音訳に際しての下調べについて	大林 緑 (日本ライトハウス盲人情報文化センター職員)	H19. 2. 23	福岡市総合図書館
2 0 0 7 (H 1 9)	大牟田での点訳の歩みと活動状況	点訳奉仕「大牟田むつき会」	H20. 2. 22	大牟田市立図書館
2 0 0 8 (H 2 0)	DAISYの基礎から最新情報まで	辻郷 美太郎 (長崎県視覚障害者情報センター 音訳指導員)	H21. 2. 20	久留米市立中央図書館

年 度	内 容・テーマ	講 師	期 日	会 場
2 0 0 9 (H 2 1)	①視覚障害のある子どもへの読書のすすめ ②視覚障害者サービスの現状と課題	吉松 政春（福岡県立北九州盲学校校長） 梅田 ひろみ（日本点字図書館図書情報課長）	H22. 2. 19	福岡県立図書館
2 0 1 0 (H 2 2)	てんやく絵本の現状とふれあい文庫の活動について～活動を通して学んだこと～	岩田 美津子（てんやく絵本ふれあい文庫代表）	H23. 2. 18	小郡市文化会館
2 0 1 1 (H 2 3)	視覚障がい者の情報環境とボランティア活動	白土 なるみ（福岡点字図書館長）	H24. 2. 10	苅田町立図書館
2 0 1 2 (H 2 4)	音訳・点訳のためのインターネット活用講座	平松 陽子（「音訳の部屋」制作者）	H25. 2. 8	みやこ町役場
2 0 1 3 (H 2 5)	視覚障害者の情報環境とボランティア活動	吉住 寛之（ユニバーサルデザインコンサルタント代表）	H26. 2. 7	福岡県立図書館
2 0 1 4 (H 2 6)	マルチメディアデージーの可能性 ～読みに困難のある子どもたちを自分なりの読み方へつなぐ～	濱田 滋子（NPO 法人 NaD 代表） 國武 淳二（NPO 法人 NaD 副代表）	H27. 2. 6	北九州市立点字図書館
2 0 1 5 (H 2 7)	視覚障がい者の理解を深めるために ～歩行訓練士の立場から～	宮崎 涼二（福岡市立心身障害者福祉センター相談支援専門員）	H28. 2. 5	福岡市総合図書館
2 0 1 6 (H 2 8)	①図書館職員の経験から見た障がい者サービス ②障がい者サービスとサピエの可能性	①田中 文人（有明キリスト教会牧師） ②吉弘 裕子（鹿児島県視聴覚障害者情報センター点字指導員）	H29. 2. 10	大牟田市立図書館
2 0 1 7 (H 2 9)	「読むことに困難がある人たちのための電子図書 DAISY」～多様なニーズに対応した最新の制作・閲覧環境～	鈴木 昌和（九州大学大学院名誉教授、特定非営利法人サイエンス・アクセシビリティ・ネット代表、科学ヘジャンプ・全国ネットワーク代表）	H30. 2. 2	久留米市立中央図書館

2018 (H30)	「障害者の読書と図書館の障害者サービス」～点字・録音図書による情報提供からICTを活用した障害者への新たなサービスまで～	杉田 正幸(日本図書館協会障害者サービス委員会関西小委員会委員長)	H31.2.15	北九州市立西部障害者福祉会館
2019 (R1)	「読書バリアフリーと障がい者の読書環境」	吉松 政春(北九州視覚障害者自立推進協会あいず理事長)	R2.2.14	小郡市文化会館
2020 (R2)	①「『もっと前へ』見えない・見えにくい人の安心のために」 ②「地域における読書バリアフリー体制実態調査について」	①姉崎 久志(社会福祉法人ほくてん「北海点字図書館」職員) ②福岡県福祉労働部障がい福祉課	R3.2.10	福岡県総合福祉センター(クローバープラザ)
2021 (R3)	「点字および録音図書における著作権の取扱いについて」	平井 利依子(社会福祉法人ぶどうの木 ログোস点字図書館 図書制作部・図書館サービス部長)	R4.2.4	Zoomによるフルオンライン